



たくさんの行事が無事終了しました

夏休み以降、新型コロナウイルス感染症第5波が拡大する中で、予定していた行事の開催について日々心配していました。行事の開催については数週間前に決定することが多いのですが、当日に向けて感染状況が悪化することもあり、気が気でない日々が続くことがありました。その様な状況の中で当日を迎え、無事に子どもたちの笑顔が見られるとなんとも言えないうれしい気持ちになります。

民俗学者の柳田国男氏が、日本人の伝統的な世界観として「ハレとケ」があることを見いだしました。「ハレ」は年中行事などを行う特別な日、非日常という意味で、「ケ」が普段の生活、日常という意味です。まさに子どもたちの学校生活はこの両方で成り立っていると思います。「ハレ」の日を楽しんだ子どもたちは、エネルギーを充足して再び日常に戻っていきます。これからも、様々な行事が子どもたちの思いを取り入れながらできることを願っています。

校内体育大会 9/29

校内体育大会の様子は、木田小学校のホームページに何枚かの写真を載せています。当日は天気にも恵まれ気温が上がり、夏に戻ったような暑さでした。昨年同様、2学年ごとに入れ替えを行い、午前中のみ開催し、式典は教室で行われました。小学校最後の体育大会となった6年生は特に、応援や準備、後片付けまで、後輩たちのために一生懸命働いたり、アドバイスをしたりなど、その頼もしい姿に感心しました。制限はあったものの、どんなことでも全力を出すということを、今日の子どものいろいろな表情から教えてもらった気がします。来年こそ、みんなの頑張りをみんなで応援できる体育大会を、また迎えられるように。（ブログのコメントより）



5年生 宿泊学習

奥越青少年自然の家での宿泊学習に参加した子どもたちは、2日間本当に楽しい時間を過ごしていました。自然の家入所後、焼き板作りと魚つかみに分かれ活動を開始しました。私は、子どもたちがさばいたイワナを炭火で焼く係を務めました。次々と持ってくる魚を、おいしく食べてもらえるよう表裏こんがり焼きました。何人もの子が「おいしい！」と食べる姿を見て5年生の子どもたちのたくましさを感じました。

キャンドルサービスは、コロナの影響で目一杯楽しむ第2部の出し物が出来なかったのですが、全員で静かにキャンドルの明かりを見つめる時間はとても幻想的なひとときでした。

2日目は大野市内を班別で散策しました。天気も良く暑いぐらいの1日でした。



6年生 修学旅行

昨年に続き、福井県内を旅行先とする修学旅行が実施されました。1日目は、越前漆器伝統産業会館で絵付け体験をし、午後はツリーピクニックアドベンチャーいけだで思い切り体を動かしました。メガジップラインで雄大な自然の中を滑り降りたり、木から木へ渡されたロープ伝いに空中散歩を楽しんだりとスリルを味わいながらアクティビティーに挑戦していました。

写真は解散前の様子ですが、活動後に集合した頃は池田の山々が夕闇に包まれ、幻想的な光景が広がっていました。

2日目は、若狭工房での箸造り体験をしました。福井の伝統工芸を2日にわたって体験するのもなかなか良い体験だと思いました。自分で使うものを自分でつくるという生活の原点に返ったような気がします。

私は蘇洞門めぐりの遊覧船に初めて乗りました。前日は波が高く出港できなかったそうですが、この日は、小浜湾内クルーズは大丈夫ということで出港しました。ただ少しだけ湾の外にも出てくれましたが、湾外に出ると船は前後にかなり揺れてスリル満点でした。楽しいひとときでした。無事2日間の修学旅行が実施でき、子どもたちにも良い思い出として残ったことだと思います。



校内マラソン大会 10/26

足羽川の河川敷遊歩道を利用したマラソン大会が行われました。前夜は雨が降り子どもたちが走る走路やスタート地点の芝が大丈夫か心配しましたが、当日は快晴のもとで問題なくマラソン大会が実施されました。

子どもたちはそれぞれに目標を持ち走っていました。沿道ではたくさんの保護者の皆さんが応援してくださったので、子どもたちの励みになっていたようです。



☆ おねがい ☆

朝の登校時間帯 7:30~8:30 は学校前の道路は通行禁止です。ほとんどの方はご理解いただいていると思います。ケガや病気等で送ってこられる場合は、木田橋通りから真っ直ぐ校内へ入っていただいています。その様な場合以外は、通行禁止でない場所で子どもたちを下ろし、歩いて登校するようご協力願います。迎えの際に木田橋通り角の学習塾駐車場に車を止めて待っている方がいるようですが、あくまでも私有地ですので止めないようにしてください。

また、先般のPTAの会議で、給食白衣の洗濯に芳香剤入りの柔軟剤が使われる場合があり、香りに敏感な子どもにとってはそのニオイが辛いという話題が出ました。「香害」として社会問題にもなったので、一時期よりはメーカーも対応を進めたのではないかと思います。それでも辛いと感じる子どもがいることは事実なので、白衣の洗濯の際はニオイのない洗剤や柔軟剤を使っていただくようお願いします。どの子にとっても過ごしやすい環境をつくってあげたいものです。ご協力願います。

